



京浜臨海部ライフイノベーション 国際戦略総合特区 **概要**

神奈川県・横浜市・川崎市



詳しくは で検索してください。

お問い合わせ先

〈3団体ホームページ〉

<https://www.keihin-tokku.jp>

〈神奈川県〉

神奈川県政策局ヘルスケア・
ニューフロンティア推進本部室

TEL:045-210-3265 FAX:045-210-8865
E-mail: tokku@pref.kanagawa.jp

〈横浜市〉

横浜市経済局ライフイノベーション推進課

TEL:045-671-3495 FAX:045-664-4867
E-mail: ke-tokku@city.yokohama.jp

〈川崎市〉

川崎市臨海部国際戦略本部

TEL:044-200-3690 FAX:044-200-3540
E-mail: 59kokuse@city.kawasaki.jp

第13版 平成30年10月1日



京浜臨海部の強みを活かしたライフノベーションの推進

京浜臨海部ライフノベーション国際戦略総合特区

神奈川県、横浜市、川崎市の3自治体で、京浜臨海部に集積する産業基盤等の地域資源を最大限に活用しながら、医薬品・医療機器産業を活性化させ、経済成長とライフノベーションの実現に向けた取組みを推進しています。

東京圏国家戦略特区(神奈川県・東京都・千葉県・成田市)

大胆な規制改革等を通して経済社会の構造改革を重点的に推進することにより、産業の国際競争力の強化とともに、国際的な経済活動拠点の形成を図り、国民経済の発展と国民生活の向上に寄与することを目的としています。 ※平成26年5月指定



国家特区

横浜市立大学が神経疾患の診断薬等の開発を行い、高度な医療を提供するため、同大学附属病院に専用病床を確保しました。

凡例

- …平成23年12月指定区域
- …平成25年10月指定区域
- …京浜臨海部ライフノベーション国際戦略総合特区
- …東京圏国家戦略特区(神奈川県・東京都・千葉県・成田市)



(13)慶應義塾大学
矢上キャンパス

(12)かながわ
サイエンスパーク

A: 殿町区域 総合特区



世界的な成長が見込まれるライフサイエンス・環境分野を中心に、世界最高水準の研究開発から新産業を創出するオープンイノベーション拠点の整備を進めます。

総合特区



ライフノベーションセンターを核として、国や業界団体、海外機関等が参加・連携して、再生・細胞医療の実用化、産業の促進化を図ります。

(1)新川崎区域

川崎市

(10)東京工業大学
すずかけ台キャンパス

横浜市

(11)新横浜地区
(株)リプロセル

(2)Think

東京国際空港(羽田空港)

東京湾

(9)神奈川県立がんセンター

(4)神奈川県予防医学協会中央診療所
(5)関内地区(株)ファンケル

(3)新子安区域

B: 末広区域 総合特区



理化学研究所、木原財団、横浜バイオ医薬品研究開発センターなど既存の産業集積を活用し、基礎的な研究から商品開発が総合的に行われる研究開発拠点として整備を図ります。

(8)慶應義塾大学
湘南藤沢キャンパス

(6)横浜市立大学附属市民
総合医療センター

D: みなとみらい区域 総合特区



バイオ関連の国際的な展示会や医学・医療関連の学会等のコンベンションの開催により、国内外へのライフノベーションの情報を発信します。

C: 福浦区域 総合特区



横浜市立大学先端医科学研究センターを中心として再生医療や医療機器開発の研究が進み、手術シミュレータの製品化や、iPS細胞からミニ肝臓を作製することに成功するなどの成果が出ています。

(7)金沢産業団地区域

京浜臨海部ライフイノベーション 国際戦略総合特区

神奈川県、横浜市、川崎市の3自治体で共同提案し、平成23年12月に国に指定されました。京浜臨海部に集積する産業基盤等の地域資源を最大限に活用しながら、医薬品・医療機器産業を活性化させ、国際競争力の向上、関連産業や中小企業等への波及効果を引き出し、経済成長とライフイノベーションの実現に向けた取組みを推進しています。

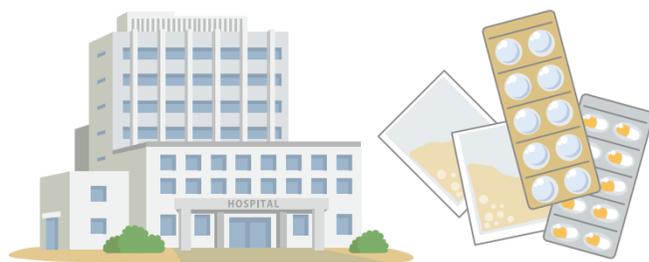
目標 個別化・予防医療時代に対応したグローバル企業による革新的医薬品・医療機器の開発・製造と健康関連産業の創出

京浜臨海部が取組む政策課題

- 1 個別化・予防医療などを実現するためのデータサイエンスの活用等の推進
- 2 医薬品・医療機器・再生医療等製品等の早期実用化のためのレギュラトリーサイエンス及び国際共同治験・研究の推進
- 3 大学等の優れた要素技術の産業化と既存産業の医療・健康分野などへの展開

課題解決のための解決策

- 医療・健診・健康等データの利活用環境の整備による健康・医療関連産業の活性化及び未病産業の創出
- 革新的な医薬品・医療機器・再生医療等製品等の新たな評価・解析手法の確立と国際共同治験・研究の迅速化
- ニーズ主導のマッチングによる新事業・ベンチャー企業の創出や未病産業など新たな分野の産業化及びその国内外市場への展開並びにこれらを担う人材育成



特区のメリット

～多様な支援措置でみなさんの事業を強力にサポート!～

〈例〉再生医療製品の開発事業者



再生医療製品を研究・開発し、患者さんの治療に役立てたい! だけど…

省庁所管の予算制度を活用できれば、製品開発を加速できるのだけど…

事業を進めるには細胞を培養する施設が必要だけど、高額で容易には取得できないな…

事業を進めたいけど、金融機関からの借り入れた時の金利は大きな負担だな…

総合特区における課題解決に資するものは、各種支援制度の活用が可能! さらに、神奈川県は全域が国家戦略特区に指定されていることから、同特区の支援措置や規制緩和メニューの活用も併用可能!

※ここでは各特区におけるメリットの一部を紹介しています。
また、活用にあたっては要件を満たす必要がありますので、詳しくは巻末の窓口にお問い合わせください。

税制支援

設備投資減税として、次の機器等を取得する場合で一定の条件を満たす場合、法人税を減税!

- (1)特別償却 →施設・設備の取得価格の40%(建物20%)
- (2)税額控除 →施設・設備の取得価格の12%(建物6%)

※平成31年4月1日以後に指定を受けた法人は、税率が異なります。
※なお、国家戦略特区でも、設備投資減税やその他の減税メニューをご用意しております。

財政支援

各省庁の予算制度を重点的に活用し、不足分については「総合特区推進調整費」を各省庁に移し変えて執行するなど、事業展開をサポートします!

金融支援

指定金融機関の融資に対して最大0.7%の利子補給が可能に!

次のページでそれぞれのメリットを活用した取組みを紹介

税制支援を活用した主な取組 ～国際戦略総合特区設備等投資促進税制～

●診断支援事業とテーラーメイド医療への展開(味の素)

血液中のアミノ酸濃度のバランスから、健康状態や疾病の可能性を明らかにする「アミノインデックス」検査を、県内の医療機関等と連携し実施しています。横浜市立大学を中心に地域医療連携を構築し、大規模健診データ等の集積・解析を行っています。健診データは新たな健康指標の研究開発にも活用されています。



●PET薬剤等の新規診断薬の研究開発及び製造に関する事業(富士フィルム富山化学)

サイクロトロン等の機器を備えていない医療機関においても、医師の処方に基づき個々の患者のニーズに合わせたPET薬剤を調製、供給する日本初の仕組みを構築します。また、開発したPET薬剤を用いた難知性の病気の診断や治療法の有効性の確認等を通じて革新的な医薬品の研究開発を行います。



●遺伝子治療の研究開発促進(遺伝子治療研究所及びAgilis GTRI Japan)

筋萎縮性側索硬化症(ALS)やパーキンソン病などの中枢神経領域の難病治療を目的として、自社で保有する研究開発施設、製造施設において、アデノ随伴ウイルスを利用した遺伝子治療用製剤の実用化開発を推進しています。

●再生医療等製品の研究開発促進事業(テラファーマ)

がん免疫応答のメカニズムを利用した樹状細胞ワクチン技術をベースに難治性がん治療のための再生医療等製品の研究開発及び製造に関する事業を推進しています。

金融支援を活用した主な取組 ～総合特区支援利子補給金～

●大規模改修工事借入金への利子補給(パシフィコ横浜)

「国際戦略総合特区を推進する拠点での取組を支援する事業」として、「海外の研究機関・医療機関等との連携推進」、「国際展示場への出展・ビジネスマッチング」、「複合観光施設、旅客観光施設又は大型MICE施設等への新設、改修・増改築、設備の整備又はサービス提供」を行うにあたり、利子補給金において「パシフィコ横浜大規模改修工事」が平成25年度に認定され、引き続き活用しています。



●建物建設借入金への利子補給(クリエートメディック)

人体への適合性の優れたシリコン製を中心とする医療用の細管「カテーテル」の研究及び開発を行うにあたり、殿町地区進出に伴う建物建設資金において利子補給金が平成27年度に認定され、引き続き取組を進めています。



財政支援を活用した主な取組 ～予算措置又は総合特区推進調整費～

◆レギュラトリーサイエンス推進拠点整備事業 (国立医薬品食品衛生研究所の移転整備)

特に再生医療等の先端的な医療分野において医薬品・医療機器の薬事承認に必要となる評価・解析手法等の基準を確立する施設として、国立医薬品食品衛生研究所を整備しました。
…厚生労働省 23億円

◆ヒトiPS細胞・体性幹細胞を用いた医療産業の基盤構築 (ライフイノベーションセンターの整備)

再生・細胞医療の早期実用化・産業化のための中核的支援施設としてライフイノベーションセンターを整備しました。
…経済産業省 11億7,700万円



◆医工連携の推進

患者個別のCT/MRIデータを基に、手術時の臓器の変形、力感を再現する技術による効果的な訓練が可能な腹腔鏡下手術支援機器(手術シミュレータ)の開発などを行いました。
…経済産業省 約6億円



規制緩和メニューを活用した主な取組 ※事例は国家戦略特区を活用した案件

●病床規制に係る医療法の特例

横浜市立大学が神経疾患の診断薬等の開発を行い、高度な医療を提供するため、同大学附属病院に専用病床を確保しました。



●外国人家事支援人材の受け入れに係る出入国管理及び難民認定法の特例

国家戦略特別区域家事支援外国人受入事業における特定機関の基準を満たす企業が、神奈川県全域において、女性の活躍推進や家事支援ニーズへ対応するため、外国人家事支援人材を受け入れる事業を実施しています。



●グローバル企業誘致に貢献する住環境整備のための建築基準法の特例

容積率を緩和することにより、国家戦略特別区域内において産業の国際競争力の強化及び国際的な経済活動の拠点の形成を図るために必要な職住近接型住宅の整備を促進します。

横浜駅きた西口鶴屋地区における2段階の容積率の緩和

指定容積率 500% ▶ 都市再生特別地区による容積緩和率 680% ▶ 国家戦略住宅整備事業による住宅容積率の加算 850%



京浜臨海部が選ばれる理由

都市・交通基盤の充実

- ◆羽田空港至近
発着回数:45.3万回
(うち国際線:8.5万回)
出典:空港管理状況調査 ※離陸については着陸と同数と想定
- ◆首都圏中心の交通ネットワークの要
- ◆羽田空港と神奈川側を結ぶ連絡道路の整備

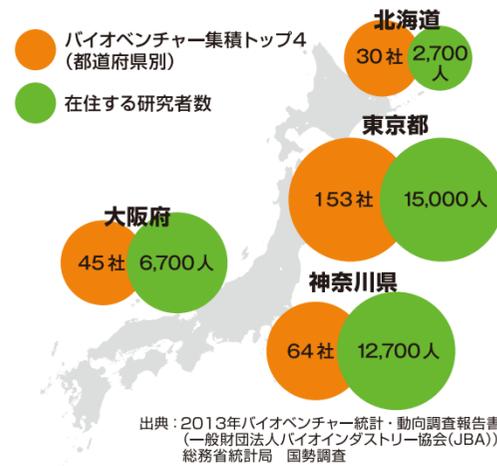


首都圏域の人材・情報・技術の集積

- ◆首都圏3,700万人の高度医療に対するニーズの存在
- ◆国際コンベンション参加者総数15年連続1位のパシフィコ横浜の立地
※2016年時点
- ◆企業集積数 東京都 4,889社、神奈川県 1,668社
- ◆研究機関集積数 東京都 994機関、神奈川県 423機関
出典:平成28年経済センサス-活動調査(経済産業省)

京浜臨海部を中心とした産業等の集積

- ◆中堅・中小企業、ベンチャー企業の集積
- ◆武田薬品工業、味の素、テルモ、富士フィルム、ジョンソン・エンド・ジョンソン、中外製薬等のグローバル企業群
- ◆実験動物中央研究所、理研横浜事業所、横浜市大医学部、北里大学、慶應義塾大学、神奈川県立がんセンター等の立地



自治体の支援メニュー

※平成30年10月1日時点

神奈川県

制度名	概要	連絡先
企業誘致促進補助金	土地・建物・設備への投資額の5%(最大5億円)特区制度を活用する場合は投資額の10%(最大10億円)を補助	神奈川県産業労働局企業誘致・国際ビジネス課 TEL:045-210-5574
税制措置	不動産取得税の2分の1を軽減	神奈川県産業労働局企業誘致・国際ビジネス課 TEL:045-210-5574
企業誘致促進賃料補助金	賃料月額額の3分の1(最大600万円)特区制度を活用する場合は賃料月額額の2分の1(最大900万円)を補助(補助期間6か月)	神奈川県産業労働局企業誘致・国際ビジネス課 TEL:045-210-5574
企業誘致促進融資	特区制度を活用する場合に利率を優遇(金利当初5年間0.9%以内、6年目以降1.2%以内)	神奈川県産業労働局金融課 TEL:045-210-5681
地域未来投資促進法に基づく支援措置	地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域の事業者に対する相当の経済的効果を及ぼす事業を実施する民間事業者に対し、設備投資に対する減税措置などにより支援	神奈川県産業労働局産業振興課 TEL:045-210-5636

横浜市

制度名	概要	連絡先
リーディング事業助成(プロジェクト助成)	国の助成制度等の活用を目指す健康・医療分野の革新的なプロジェクトに対し、研究開発費を助成(助成率:市内中小企業2/3以内、その他1/2以内)	横浜市経済局ライフイノベーション推進課 TEL:045-671-2037
リーディング事業助成(トライアル助成)	産学連携の推進につながる健康・医療分野の試作品開発などに対し、研究開発費を助成(助成率:市内大学・研究機関及び中小企業など10/10以内、助成限度額100万円)	横浜市経済局ライフイノベーション推進課 TEL:045-671-2037
医工連携推進事業	医療現場ニーズとものづくり技術の融合を推進するため、市内に集積するものづくり・IT関連企業を対象に、医療機器の研究開発や販路拡大を支援	横浜市経済局ライフイノベーション推進課 TEL:045-671-3495
バイオ産業活性化事業	アジア最大のバイオ関連産業展示会「バイオジャパン」への出展・開催支援、及び市内ライフサイエンス関連企業等の技術連携や販路開拓を支援	横浜市経済局ライフイノベーション推進課 TEL:045-671-3495
成長産業立地促進助成	成長分野(環境・エネルギー、健康・医療、観光・MICE等)の企業等が、市内に初進出する場合又は、本社や研究開発機能を市内に拡張移転する場合、経費の一部(2000万円)を助成	横浜市経済局誘致推進課 TEL:045-671-2594
企業立地促進条例(助成金・税軽減)	みなとみらい21地域、京浜臨海部地域をはじめとする特定地域等において、一定条件を満たす事業計画を実施する事業者に対して、助成金の交付(本社・研究所・工場等の建設・取得:最大50億円)と法人市民税(法人税割額)の軽減(テナント本社・研究所の設置:最大1億円/年×最長6年)を実施	横浜市経済局誘致推進課 TEL:045-671-2594
中小企業新技術・新製品開発促進事業(SBIR)	市内中小企業の研究開発への取り組みを後押しするために開発等に係る経費を助成 また、行政現場や社会全般の課題解決に役立つ優れた商品や技術に対し、展示会出展等への助成やコンサルタントの派遣などにより販促活動を支援	横浜市経済局ものづくり支援課 TEL:045-671-2597
中小製造業設備投資等助成	市内中小製造業が経営改善や競争力強化のために行う、生産設備への投資等に対し、経費の一部を助成	横浜市経済局ものづくり支援課 TEL:045-671-2597

川崎市

制度名	概要	連絡先
川崎市新技術・新製品開発等支援事業補助金	日本の製造業を支える「ものづくり」の活性化に向けて、市内中小製造業による、新技術・新製品の事業化に向けた研究開発等に要する経費を助成	川崎市経済労働局工業振興課 TEL:044-200-2324
川崎市産学共同研究開発プロジェクト補助金	新産業の創出により地域経済の活性化を図るため、市内中小企業が行う、大学等との共同による新技術・新製品開発等への取組に要する経費を助成	川崎市経済労働局工業振興課 TEL:044-200-2324
川崎市ナノ・マイクロ機器利用促進補助金	特区エリアの1つである「新川崎・創造のもり」において、中小企業等がナノ・マイクロ技術の研究装置等を利用するための費用を助成	川崎市経済労働局イノベーション推進室 TEL:044-200-2407

各都市のネットワーク

RINK かながわ再生・細胞医療産業化ネットワーク(RINK)は、羽田空港に隣接する川崎市の殿町区域に位置する再生・細胞医療の産業化拠点「ライフイノベーションセンター」(LIC)入居企業を中心に、業界団体や関係機関など多様な主体が参加・連携し、会員企業等の活動によるイノベーションの創出を目的に設立したネットワークです。会員同士の交流、情報共有やプロジェクトの立案、マッチング支援等を通じて、再生・細胞医療バリューチェーンの構築を目指しています。
(<http://rinkrink.jp/>)

LIP 横浜 横浜から、健康・医療分野(※)のイノベーションを持続的に創出していくことを目的とし、産学官金が連携して取り組むためのプラットフォーム(「横浜ライフイノベーションプラットフォーム」)です。このプラットフォームでは、企業・大学・研究機関ネットワークから革新的なプロジェクトを生み出すとともに、中小・ベンチャー企業等に対する製品化に向けた支援を行い、新技術・新製品の開発を促進していきます。
(<http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/sogyo/life/lifepf.html>)
(※)創業、医療機器開発、診断技術開発、予防医療、再生医療、介護・福祉、健康サービスなど

KING SKYFRONT 羽田空港の南西、多摩川の対岸に位置する「キングスカイフロント」では、ライフサイエンス分野における世界最高水準の研究開発から新産業を創出する「国際戦略拠点」の形成が進んでいます。これまでに、創薬、再生医療、医療機器、レギュラトリーサイエンスなど医療、健康関連企業の進出が進み、それぞれが連携し、健康長寿社会を実現するとともに、国際競争力強化による経済成長に貢献する事を目指しています。2020年には羽田連絡道路が開通し、国内外とのアクセス向上が図られ、更なるイノベーションの創出が期待されます。
(<http://www.king-skyfront.jp/>)

「キングスカイフロントネットワーク協議会」

立地機関等により構成し、魅力的なまちづくり、操業環境の向上を図るエリアマネジメントと、クラスターとして研究・事業活動の活性化を図る取組を実施します。

海外の研究機関との連携による国際イノベーションネットワークの構築



- | | |
|-------------------------|---------------------------------------|
| ① カロリンスカ医科大学(スウェーデン) | ⑬ シリコンバレーバイオベンチャー |
| ② オックスフォード大学(英国) | ⑭ スタンフォード大学 |
| ③ パスツール研究所(フランス) | ⑮ FDA(米国食品医薬品庁) |
| ④ WHO(スイス) | ⑯ アナハイム |
| ⑤ メディコンバレーアライアンス(デンマーク) | ⑰ カリフォルニア大学サンディエゴ校 |
| ⑥ Bio-MAX研究所/KRIBB(韓国) | ⑱ BIOCOM(サンディエゴバイオ業界団体) |
| ⑦ 中国科学院上海生命科学研究所(SIBS) | ⑲ ハーバード大学 |
| ⑧ 廈門(アモイ)科学工業パーク(中国) | ⑳ ロックフェラー大学 |
| ⑨ マヒドン大学(タイ) | ㉑ ジョンズホプキンス大学 |
| ⑩ バイオポリス(シンガポール) | ㉒ メリーランド大学 |
| ⑪ シンガポール大学(シンガポール) | ㉓ バイオパーク(ボルチモア) |
| ⑫ 台湾工業技術研究院(台湾) | ㉔ NIH(アメリカ国立衛生研究所) |
| | ㉕ ブラジルの企業群 |
| | ㉖ BioM
(ドイツ・ミュンヘンバイオクラスターマネジメント組織) |